

記者に出會して筆者は此の記者が東京の福岡市  
於つて九州水平社の大會が有ることを聞か  
のて平倉二時區のきの久畑茂二福岡市に向か  
つた、筆者が漸く會場に疾驅したる時は例  
の松本政一郎の演説が終る所であつた（松本  
政一郎は平倉二時區の松原に於て不在、又藤岡特高  
課長を縣警署都心に二度訪問したる也他出中  
るに本意を得ず二時區より福岡市を見物したる  
後又留米市に友人（元大朝の門司支局長）を

訪ひたるも労働問題、社會問題に干しては何  
も新しき議論を聞かざりしを得ず只佐賀の葦隈  
小武士（<sup>あせ</sup>）福岡に於ける玄洋社の実勢力  
若松に於ける吉田健吉（<sup>あせ</sup>）若松に干して一般的  
の談を聞きたるのみ、留米の久留米停車場に  
於いて永永節氏（<sup>あせ</sup>）宮崎海天一派の支那浪人  
みこころ可あり有る者も若松に紹介された、即  
ち夜（<sup>あせ</sup>）廿二日夜八幡市に帰り、翌三日再び  
先般町の北九州機械工組合の本部を訪ひて  
筆談の其の後の経過を尋ね労働争議は北九州